

岩屋太郎さんの BACS-J について

60~69F → -0.90 軽度認知

機能障害

評価	結果	平均	Zスコア	Tスコア
言語性	41	45.61	-0.43	46
ワーキングメモリー	19	18.29	0.2	52
運動機能	54	67.79	-1.17	38
注意と情報処理	49	47.29	-0.13	51
言語流暢性	40	49.04	-0.93	41
遂行機能	11	15.68	-1.08	39

60~69F → 0.39

正常値以上

評価	結果	平均	Zスコア	Tスコア
言語性	49	45.61	0.31	53
ワーキングメモリー	21	18.29	0.76	58
運動機能	68	67.79	0.02	50
注意と情報処理	51	47.29	0.29	53
言語流暢性	44	49.04	0.20	52
遂行機能	15	15.68	-0.16	48

結果	
① 言語性記憶実施法 (合計 41 点) 1回目: 5 2回目: 7 3回目: 8 4回目: 10 5回目: 11	言語性記憶実施法 (合計 49 点) 1回目: 7 2回目: 7 3回目: 11 4回目: 11 5回目: 13
② 数字順列実施法 (合計 19 点) 正答数 2桁: 4 3桁: 4	数字順列実施法 (合計 21 点) 正答数 2桁: 4 3桁: 4

4 桁：4 5 桁：4 6 桁：2 7 桁：1 8 桁：0	4 桁：4 5 桁：4 6 桁：2 7 桁：2 8 桁：1
③ トークン運動実施法 机上にある残ったトークン：46 容器の中にあるトークン：54 誤った方法で入れたトークン：0 正しい方法で入れたトークン：54	トークン運動実施法 机上にある残ったトークン：32 容器の中にあるトークン：68 誤った方法で入れたトークン：0 正しい方法で入れたトークン：68
④ 意味流暢性実施法 (合計 21 点)	意味流暢性実施法 (合計 23 点)
⑤ 文字流暢性実施法 (合計 19 点) 「か」：10 「た」：9	文字流暢性実施法 (合計 28 点) 「か」：14 「た」：14
⑥ 符号実施法 (合計 49 点)	符号実施法 (合計 51 点)
⑦ ロンドン塔検査 (合計 11 点)	ロンドン塔検査 (合計 15 点)

スコアがアプローチ後に上がった考察としては、2回目の評価になるため評価の項目を把握している事が考えられます。1度作業を経験する事で作業の再現性向上によって、点数の上昇が見られたと考えられます。ロンドン塔検査に関して、手工芸プログラムにて作品を作成する中で工程を理解する、様々な課題をこなしていくことにより遂行機能の向上が見られたと考えられます。文字流暢性実施法に関しては、脳トレプログラムにて頭文字を提示し、言葉を作り出す課題を行ったことが、点数の向上に大きく関わっているのではないかと考えます。